

受講が決まってから、ドクター向けのペリオのコースを9か月間一緒に受けるということで、そのレベルについていけるのか？私が受けて意味があるのか？と不安でした。

しかし、第一回目に鉄平先生が「MTMはDHが中心となって担当患者さんを一生涯自分の歯で過ごしていただけるように導いて行くシステムだからこそ、OPDHに求められるレベルはDr.と同等の知識が必要である。ゆえにこのコースはDHとセットなのです。」という言葉聞いて、そうか！と何か私の中でスイッチが入ったのを覚えています。

そして、9ヶ月間学んだ今、このコースで勉強できたことに心から感謝しています。

9ヶ月間でDHが担当する初期治療～Dr.の歯周外科まで幅広く教えていただきました。

例えば、DHでも最近よく耳にするEBD（科学的根拠に基づく歯科治療）ですが私は実際EBDがどういうことかしっかり分かっていませんでしたが、論文の調べ方や、論文に載っている研究のデザインや種類、論文の信憑性レベルなど普段自分がやっている医療行為がどのようにして裏付けされてきたのかを知ることができましたし、なぜ必要なのか、そしてそれを臨床に生かしていくとどうなるのかを症例を通して学ぶ事ができました。

そして、私が今まで受けてきたペリオのセミナーは初期治療とメンテナンスの部分ばかりで、歯周外科に関してはほとんどなかったように記憶していますが、今回のPHIJでは歯周外科の種類一つ一つを細かく目的や意味を講義いただいた後さらに実習やライブオペを通して勉強したことでかなり理解が深まりました。そしてなにより大事な歯周病因論と、初期治療もワールドスタンダードをみっちり学びました。SRPは、Dr.と一緒に実習したことにより、院長の私が普段やっている治療への理解が深まり受講前より一層連携がスムーズになったと思います。

そして、全国の同じ目標を持った歯科医院とつきやま歯科さんの方とも交流できた事も私にはとても大きな財産となりました。このコースは、単なるペリオのコースではなく、OP医院としての志や方向性、勉強の仕方を示していただいたコースだったように思います。このようなハイレベルなコースを日本で、しかもDHも受けられるように開設していただいたことに今一度深く感謝申し上げます。

最終日に雄次先生が「これで終わりではなく、これから共に勉強していきましょう。」とおっしゃっていただいた通り今後ともよろしくお願い致します。そして、毎回運営にご尽力いただいた、講師の先生方、企業の方、つきやま歯科のスタッフの皆様にご心より御礼申し上げます。